

SHIRAKOBATO

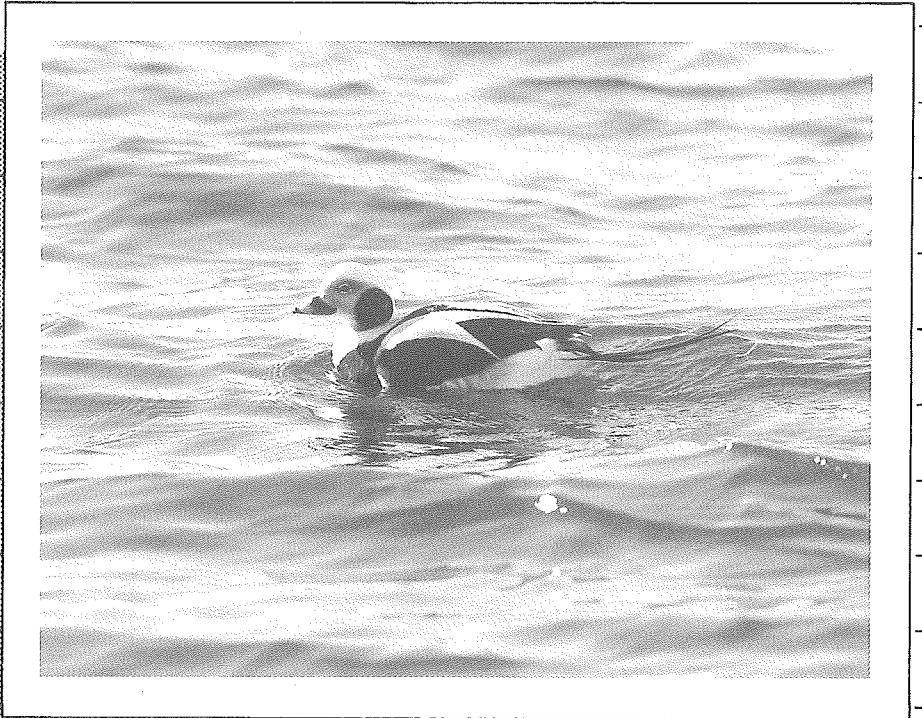
しらこぼと



2000.12

SOCIETY OF JAPAN · SAITAMA

WILD BIRD



NO. 200

日本野鳥の会 埼玉県支部

『しらこぼと』特集(十α) 目録

『しらこぼと』は、1984年、昭和59年の5月・6月合併号を創刊号とし、今月の12月号をもって200号を迎えることができました。これもひとえに、会員一人一人の力の結集であり、あらためて感謝申し上げます。

『しらこぼと』は、埼玉県支部活動の確かな証しであり足跡です。そこで、2001年1月号(201号)を迎えるにあたり、ちょうど区切りのよい200号で、各号の特集だけの目録を作成しその記念としました。特集だけとしたのは、そこに最も確かな証しと足跡が残っていると考えたからです。

作成の目的は、これからの『しらこぼと』の活動の方向を、ひいては支部活動の方向を、確認したり探したりすることにあります。素晴らしい未来を築いていくために過去を知ること、『しらこぼと』や支部活動にも言えることです。解答は今までの足跡の中にあります。これからも不易と流行のバランスを取りつつ活動していきたいと思えます。

なお、当初は特集だけの目録を考えていましたが、それ以外のものにも埼玉県支部ならではの読み物もあり、十αとして編集子の独断で目録に加えました。各月各号の最初の段



が特集で、その次が十αの読み物です。

また、紙面の都合上、執筆者名は割愛させていただきます。同様に、ガン・カモ・ハクチョウ類、シギ・チ類、タカの渡り、鳥の目から環境を調べよう! の各調査報告は毎年報告されており省略しました。

1984年度(昭和59年度)

- 5,6月(創刊) 埼玉県支部発足にあたって
最初の探鳥会が開かれました
- 7月(2) 指針 自然保護に向けて
- 8月(3) 指針 自然保護はアメニティ意識から
- 9月(4) 指針 緑のルネサンスを!
私のフィールド案内=茨城県・菅生沼=
- 10月(5) 大麻生にサンクチュアリを
- 11月(6) 今年も会える冬鳥たち
- 12月(7) 盛況でした大麻生野鳥教室
声を広げよう -ウトナイ湖サンクチュアリを守るために-
高野伸二さん逝去
- 1月(8) 会員の声
中西悟堂さん逝去
- 2月(9) 会ってみたい珍客たち ミツユビカモメ、シノリガモ、マナ
ヅル、オガワコマドリ、マガソ、ヒメクイナ、サバクヒタキ
- 3月(10) またもや珍客・オオハクチョウ
ウトナイ湖サンクチュアリその後

1985年度(昭和60年度)

- 4月(11) 役員紹介 シンボルマーク決定
- 5月(12) 第1回総会のお知らせ
第1回初級リーダー研修会開催
- 6月(13) ツルを救って、パネル展に1200人
大麻生駅に看板
- 7月(14) 昭和60年度支部総会を実施
- 8月(15) 本部の会員制度改正案を考えよう
大盛況だった『日本野鳥展』
- 9月(16) シギ・チドリ類の観察で秋の訪れにふ
れよう
=冬がくる= カモを楽しむ
“汐入の池”に海水を?.
- 10月(17) ワシタカ類に想う
マイフィールド・ガイドを作りませんか
- 11月(18) 埼玉の鳥相-1985年夏鳥分布調査報告-
- 12月(19) 野鳥への新たな思いを込めて
ミニサンクチュアリに寄せて
- 1月(20)

- 2月 (21) マイ・フィールド ノスリの里、秘境
・白幡沼、古利根川
3月 (22) 春を色どる ウグイス、ウソ、ヒバリ、
ツバメ、キレンジャク・ヒレンジャク
探鳥会絵日記

1986年度 (昭和61年度)

- 4月 (23) 春のシギ・チドリに想う
消えゆく森・大麻生
5月 (24) 私の片思い まだ見ぬ君へのラブレター
6月 (25) 埼玉の鳥相—1986年冬鳥分布調査報告—
7月 (26) 活発に支部報告
マイ・フィールド 荒川の西
8月 (27) 都市鳥を調べる
9月 (28) 南へ、南へ… ツツドリ、サシバ、ノビタキ
町のチョウゲンボウ
10月 (29) マイ・フィールド 戸田中フィールド、
毛長川周辺、北中地区の雑木林
11月 (30) We are here! コハクチョウ、ノスリ・チ
ュウビ、トモエガモ、カンムリカイツブリ、タゲリ
鳥相で見る埼玉の都市化 —1986年夏
鳥分布調査報告—
12月 (31) 海の鳥も見たい
もうお持ちですか、新エンブレム
1月 (32) 普及、事業、編集、研究、総務各部紹介
鳥見ふあっしょん考
埼玉県産鳥類リスト 1978年4月~1986年11月
2月 (33) オラが国サの鳥自慢 山口県、北海道、愛知県
野鳥情報欄について
3月 (34) 野鳥写真考

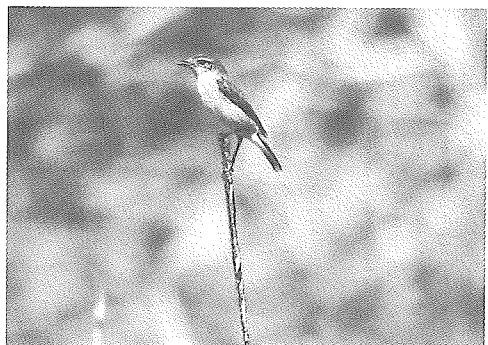
1987年度 (昭和62年度)

- 4月 (35) マイ・フィールド 大間土手・我が庭、
カワセミのメッカ、渡島瀬遊水地西縁
5月 (36) ミニサンクチュアリ入門 (夏季編)
6月 (37) ちょっと遠出 日光白根山弥陀ヶ池、浮島湿原
シギ・チドリ類、過去50年の越冬記録—1987
年冬鳥分布調査報告—
7月 (38) 会員の力を結集して (昭和62年度総
会)
バードソン1987の報告
8月 (39) 地図を楽しむ
利根川阪東大橋下流でのマガンの越冬
記録
9月 (40) WANTED!! ウミシ、シマクハ、ハヅロコササ、オオダケササ、
オオササ、コササ、ハリノキ、ハイロヒレアシギ、オオセグロ
カモ、カモメ、エゾセンニュウ、コホオアカ、シベリアジュリン
キガシラセキレイの記録
10月 (41) 探鳥会の前の裏、話します

- シジュウカラの繁殖の記録
11月 (42) フィールドノートをつけて…みるか…
埼玉平野部におけるコゲラの進出 —19
87年夏鳥分布調査報告—
12月 (43) ミニサンクチュアリ入門 (冬季編)
地形図とメッシュ
1月 (44) Where are you? —埼玉県産鳥類
・普通種・地域別季節別生息状況—
ツバメチドリ繁殖記録(1987年夏、阪東大橋)
2月 (45) 野鳥しゃしん考 ばあと・つう 機材
についてのしつたかぶり
3月 (46) わたしの工夫・みなさんもいかが?

1988年度 (昭和63年度)

- 4月 (47) 秋ヶ瀬 (浦和市)
謎のヒタキの正体判明 なんとクロジョウビタキ
見沼通船堀から差間へ (浦和市・川口
市)
1987/88年 冬の荒川中流におけるコ
ハクチョウの越冬
6月 (49) ヤマガラ、過去50年の生息記録 —19
88冬鳥分布調査—
7月 (50) TOKYO BAY
~本庄・阪東大橋~1987/88年クロツ
ラヘラサギ越冬記録
8月 (51) 梅雨の合間には総会に出よう
シロハラクイナとシロハラトウゾクカ
モメの観察報告
9月 (52) 大麻生
10月 (53) 阪東大橋 (本庄市)
11月 (54) 高麗川 (坂戸市)
クロアシアホウドリの観察記録
12月 (55) コヨシキリ、ただいま勢力拡大中!
—1988夏鳥分布調査—
1月 (56) 不忍池 (台東区上野)
埼玉県における主な稀少種リスト
2月 (57) 鐘撞堂山 (寄居町)
3月 (58) 三室地区 (浦和市)



ノビタキ (大塚操)

1989年度 (平成元年度)

- 4月(59) 平林寺(新座市)
5月(60) 奥日光～戦場ヶ原周辺～
6月(61) 埼玉におけるカワウの動態-1989冬鳥分布調査-
7月(62) BIRDATHON 1989
8月(63) 支部長交替・会費値上げは見送り
9月(64) 丸山公園(上尾市)
10月(65) お気に入り軽井沢(小瀬より塩壺へ)
11月(66) 東進するイワツバメ! -1989年夏鳥分布調査報告-
12月(67) しらこ鳩の里 越谷
1月(68) 海外探鳥の楽しみ 香港の鳥たち
埼玉県産鳥類リスト 1978年4月～1989年11月
2月(69) 今月号は会員の声の特集デース♡
3月(70) 野鳥しゃしん考 ばあと・すりい テクニックについてのしったかぶり

1990年度 (平成2年度)

- 4月(71) 入間川の野鳥たち
5月(72) 好き 谷津千潟 好き
オオセグロカモメの観察
6月(73) 都市に追われるシラコバト -1990年冬鳥分布調査報告-
県内初記録2種の報告 カモメ、ムラサキサギ
7月(74) 事務局レポート
県南部ハシブトガラスの増と増入り飛翔コース
8月(75) 本年度も会費値上げしません
9月(76) バードモデルの楽しみ
10月(77) 都市鳥は今
11月(78) 変わりゆく埼玉の鳥相 -1985～1990年県内野鳥分布調査概要-
12月(79) カモン 狭山湖へ カモン
シロハラミズナギドリ記録
1月(80) 今年も秋が瀬
2月(81) ㊦ 探鳥ごよみ
ハシビロガモ幼鳥とウミアイサの記録
3月(82) 野鳥しゃしん考 ばあと・ふおー ブラインドについてのしったかぶり

1991年度 (平成3年度)

- 4月(83) ひまなら差間
ナベコウの観察記録
5月(84) 足の向くまま下松原
6月(85) カッコウほどおもしろい鳥はいない!
7月(86) おじさんのさえずり講座
8月(87) 支部総会報告
9月(88) ゴルフ場を考える
10月(89) 最新鐘撞堂山(寄居町)情報

- 11月(90) 吉見百穴周辺 in WINTER
12月(91) カモと小鳥たち 武蔵丘陵森林公園
1月(92) 総務部、普及部、事業部、編集部、研究部、記録委員会、鳥獣保護員から
2月(93) 長瀨(荒川)ひなつたぼっこ探鳥コース
3月(94) My Field 大麻生
サハリン自然紀行 一渡航編一

1992年度 (平成4年度)

- 4月(95) 石戸宿
5月(96) 定例探鳥会記録から見た三室地区の野鳥の特徴
編集内容のご紹介 Part 2
6月(97) サハリン自然紀行 一くなしり編一
7月(98) 埼玉県内鳥類リスト 1978年4月～1992年4月
8月(99) 総会報告 松井昭吾新支部長就任
9月(100) 秋=タカの渡り=伊良湖岬
10月(101) 省エネのすすめ
11月(102) 野鳥しゃしん考 ばあと・ファイブ
ドアップビデオについてのしったかぶり
12月(103) 出かけてみませんか武蔵丘陵森林公園
1月(104) 不思議タミソウ
2月(105) Rubbish birds
3月(106) 自然環境のあるべき姿を考えよう! -地域の新旧の地形図を手がかりに-
クロツラヘラサギとツリスガラ

1993年度 (平成5年度)

- 増刊(107) 埼玉県野鳥分布調査報告-1985年～1990年-
県内野鳥分布図
4月(108) 憧れのバードアイランド三宅島
5月(109) 巣立ち雛はそのままに
埼玉県内鳥類リストの最近の情報
6月(110) 水と鳥の郷 浮島誌上探鳥会
7月(111) ツバメチドリ観察(1992年)
野鳥記録委員会最新情報ツリスガラ、クロハラアジサシ、ツクシガモ
8月(112) 総会報告 継続の一歩
初めての本 埼玉見て歩き・県北版
野鳥記録委員会最新情報シベリアジュリン、サバンナシトド
9月(113) 東浦和のアオバズク近況
10月(114) もういくつ寝るとバードソン
野鳥記録委員会最新情報クロサギ、キマユムシクイ
11月(115) 私のバードライフ これだけはこだわりたい!
12月(116) 皆さんに感謝 バードソン
1月(117) 『夏鳥たちの歌は、今』を読む
2月(118) 新年おたより特集

- 3月(119) 私の探鳥録昨今(春日部市南西部)
- 1994年度(平成6年度)**
- 4月(120) 人類の未来と生態学
野鳥記録委員会最新情報コホオアカ
- 5月(121) 探聴の楽しみ 録音の楽しみ
- 6月(122) 石戸宿探鳥案内II
- 7月(123) 日本の屋根でバードウォッチング
- 8月(124) ウミウとカワウの黒い関係について
総会報告
- 9月(125) 好き 谷津干潟 好き パート2
日本野鳥の会埼玉県支部探鳥会規定
- 10月(126) 最初的一步 バードソング[埼玉レッズ'94]
- 11月(127) ついに発刊!!【気ままにバードウォッチング】
- 12月(128) 猫への対策
- 1月(129) 行ってみよう、やってみよう海外の探鳥
ご支援に感謝 バードソング
- 2月(130) 農業と野鳥
柳瀬川観察記録
- 3月(131) 三郷市の鳥情報
- 1995年度(平成7年度)**
- 4月(132) 自然の宝庫・戸隠 誌上探鳥会
オオワシ捕獲大作戦
- 5月(133) バードウォッチングの基礎知識
- 6月(134) 埼玉県支部についてのQ&A 第1回
- 7月(135) これならできる!! 環境保護活動を教育の現場から考える
- 8月(136) 埼玉県支部についてのQ&A 第2回
総会報告
- 9月(137) 頑張るおじさんたちのバードソング1995
- 10月(138) 図鑑を持ってフィールドに出よう!
野鳥記録委員会最新情報シロハラクイナ291、コンジロアジサシ292
- 11月(139) 全国野鳥密猟問題シンポジウム
支部の探鳥会規定を改正しました
- 12月(140) 白馬の野鳥たち
- 1月(141) わいわいがやがや(会員の声特集)
- 2月(142) 自然を感じる昼休み—西新井の森から—
- 3月(143) 三番瀬 FOREVER
野鳥記録委員会最新情報セジロタビバ
リ293、シロカモメ294
- 1996年度(平成8年度)**
- 4月(144) 双眼鏡の手入れと選び方 なるほど、なるほど!!
ありがとうございましたバードソング1995
- 5月(145) 埼玉県支部についてのQ&A 第3回
- 6月(146) 森に親しもう 一埼玉の森 入門—
- 7月(147) 探鳥ツアー 中米コスタリカ
野鳥記録委員会最新情報ハイロヒレアシギ295

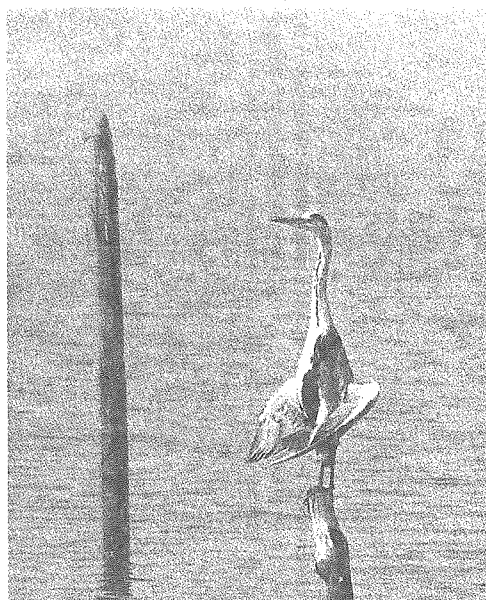


ヤマネ(山内元)

- 8月(148) 総会報告
- 9月(149) 森に親しもう(その2) 一森の四季入門—
傷病野生鳥獣保護診療機関連絡先
- 10月(150) 私のまち(越谷)は116種、あなたのまちは?
野鳥記録委員会最新情報リュウキュウヨシゴイ296
- 11月(151) マイフィールドノート 入間川
- 12月(152) タシギとオオジシギの識別
- 1月(153) 超ビギナー講座 これだけ「冬鳥」
- 2月(154) 超ビギナー講座II 今年こそ探鳥会!!
野鳥記録委員会最新情報オオキアシシギ297
- 3月(155) オオハムとシロエリオオハムの識別
緊急特報 日本海重油汚染からの野鳥保護
- 1997年度(平成9年度)**
- 4月(156) バードソング「フレッシュしらこぼと」
チームをよろしく
- 5月(157) 三郷市・江戸川の野鳥
- 6月(158) 身のまわりの自然を見つめよう!
諫早湾の堤防締切りに抗議
バードソング報告
- 7月(159) 埼玉県支部についてのQ&A 第4回
- 8月(160) 支部総会のご報告
- 9月(161) 埼玉県支部についてのQ&A 第5回
- 10月(162) 識別は楽しい♡
旧武蔵野操車場跡地のチョウゲンボウ
- 11月(163) 埼玉県支部についてのQ&A 第6回
- 12月(164) 蓮田市中央公民館バードウォッチング教室
- 1月(165) 第5回野鳥密猟問題シンポジウム・広島大会
- 2月(166) ビギナー講座 雪はいやだ!なんて言
ってられない
野鳥記録委員会最新情報コマルガラス
298、マダラウミスズメ299、ナベヅル300
- 3月(167) フィールド図鑑を使いこなそう!
関東ブロック協議会の報告

1998年度（平成10年度）

- 4月(168) バードソン1998甦れ! 里山Ⅱ
傷病野生鳥獣里親研修会の報告
- 5月(169) 秘境探鳥行・ボルネオよいとこ
フレ～、フレ～、バードソン!!
- 6月(170) 今月は皆さんの声の特集です
やったぞ、バードソン77種!!
野鳥記録委員会最新情報サバナシトド
- 7月(171) フィールドガイド 西新井の森(第2報)
- 8月(172) 総会のご報告・支部長が代わりました
- 9月(173) 休耕田の新しい試み
野鳥記録委員会最新情報オオトウゾクカモメ301
- 10月(174) バードウォッチングのためのフィールド
図鑑(上)
- 11月(175) バードウォッチングのためのフィールド
図鑑(下)
野鳥記録委員会最新情報クロウミツバ
メ302、オナガミズナギドリ303
- 12月(176) 朱鷺をたずねて
- 1月(177) 正月だ!! 鳥見の始めはタカだ!! 鷹だ!!
- 2月(178) 切手でバードウォッチング
- 3月(179) 彩湖は猛禽と水鳥と小鳥たち…、彩湖Ⅱ



アオサギ(松村禎夫)

- 2月(190) 我が家の釧路航路ファイナルクルーズ
- 3月(191) 岩槻公園・岩槻文化公園周辺での探鳥

1999年度（平成11年度）

- 4月(180) マイフィールド渡良瀬遊水地
- 5月(181) 出張 de バードウォッチングⅠ、Ⅱ、Ⅲ
- 6月(182) フィールドで繁殖調査を!
1年間も文化センターの“先生”をや
ってしまったのです
- 7月(183) ひさしぶりの舳倉島 初めての舳倉島
- 8月(184) 第15回支部総会を開催しました
- 9月(185) 海外のフィールド図鑑に挑戦
- 10月(186) 人材バンクに登録しよう
第6回野鳥密猟問題シンポジウム in 千葉
- 11月(187) ケニア西部バードサファリから
野鳥記録委員会最新情報シロハラトウゾクカモメ
- 12月(188) 地鳴きコーナー特集
- 1月(189) 2000年だよシラコバト
ヒメクビワカモメ、コキンメフクロウ

2000年度（平成12年度）

- 4月(192) 超望遠ビデオのノウハウⅠ
- 5月(193) それって、誘拐です!
埼玉県内鳥類目録の改訂
- 6月(194) ここまで広がったよ! シラコバト —
見つけ隊、6ヶ月の活動記録—
- 7月(195) 私のお気に入り・蓮田市黒浜沼周辺
- 8月(196) 総会報告 支部規約変更・新副支部長
就任
- 9月(197) 奥武蔵・有間山一帯
雲取山頂から白岩山頂
- 10月(198) 『とうきょう』のカラスの数を調べよう
- 11月(199) カモメ類識別のヒント
住宅地(浦和市)の鳥18年
- 12月(200) 創刊200号記念『しらこぼと』特集(十α)目録

表紙の写真

コオリガモ(ガンカモ目ガンカモ科コオリガモ属)

撮影：外園たけの(春日部市) ユーラシア、アメリカ、グリーンランドなどの北極海沿岸や島で繁殖し、冬は南下する。日本には冬鳥として主に北海道に飛来する。外海に面した波の荒い海岸や、港の中などでも見ることができる。翼を羽ばたくようにして潜水する姿は、不器用な感じに見えるが、翼を使って15m以上も潜水して、甲殻類や貝を捕食する。オスは、浮き上がった直後に長い尾を振る動作がユーモラス。(解説：編集部)

2000年秋 シギ・チドリ類調査報告

日本野鳥の会埼玉県支部研究部

日 時：2000年9月15日 9:30～11:20
 場 所：浦和市／大宮市 大久保農耕地
 天 候：曇り

1997年～2000年 秋のシギ・チドリ類調査結果

9月15日に大久保農耕地でシギ・チドリ類の調査を行いました。当日は日本海から北日本にかけて秋雨前線が停滞しており、南からは湿った空気が入りこんだため、雲が多く蒸し暑い日でした。そのような中、支部会員23名の協力が得られました。ご苦労さまでした。

観察された鳥類・個体数は1種1羽で、昨年の秋の大久保農耕地と比較すると種数で3種、個体数では113羽少なくなっています。カウント結果が1羽というのは、今までの春と秋の調査を通して、一番少ない記録となりました。

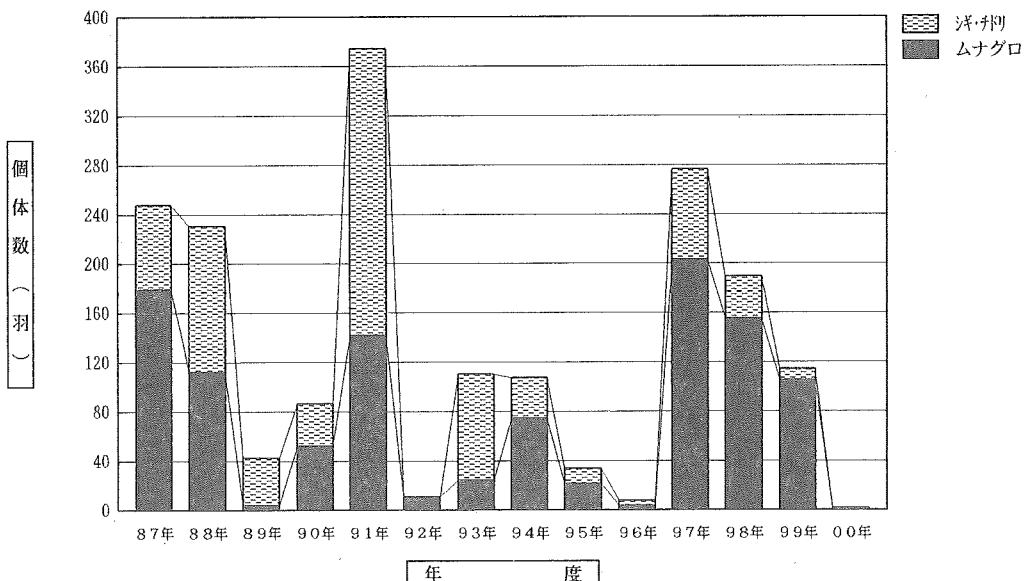
グラフは秋のカウント結果のうち、大久保農耕地におけるムナグロとそれ以外のシギ・チドリ類の個体数をまとめたものです。

(注) シギsp. はジシギsp. かタシギのどちらかなので、種数に入れませんでした。

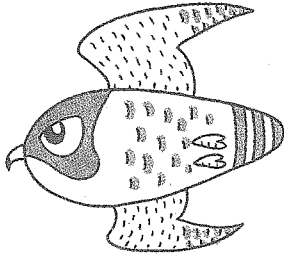
(石井 智)

調 査 地	大 久 保 農 耕 地 浦 和 市 / 大 宮 市			
	'97 年	'98 年	'99 年	'00 年
鳥 類				
コチドリ	13	—	—	—
ムナグロ	203	155	105	—
エリマキシギ	1	2	—	—
クサシギ	—	—	—	—
タカブシギ	4	—	—	—
イソシギ	1	—	—	—
ホウロクシギ	—	—	1	—
コシャクシギ	—	6	—	—
タシギ	51	24	6	—
オオジシギ	—	—	—	1
ジシギsp.	1	2	1	—
チドリsp.	1	—	—	—
シギsp.	—	—	1	—
個 体 数 合 計	276	189	114	1
種 数 合 計	8	5	4	1

ムナグロとそれ以外のシギ・チドリ類



行事あんない



(何森 要)

特別な場合を除いて予約申し込みの必要はありません。初めての方も、青い腕章をした担当者に遠慮なく声をおかけください。私達もあなたを探していますので、ご心配なく。

参加費は一般100円。会員と中学生以下50円。持ち物は、筆記用具、雨具、昼食、ゴミ袋、もしあれば双眼鏡など。解散時刻は、特に記載のない場合、正午から午後1時頃。悪天候の時は中止、小雨決行です。

自然保護のため、できるだけ電車バスなどをご利用のうえ、指定の集合場所までおいでください。

蓮田市・黒浜沼探鳥会

期日：12月2日(土)

集合：午前8時45分、JR宇都宮線蓮田駅東口バス停前。

担当：玉井、中島(康)、中村(榮)、田中、松永、長嶋

見どころ：里の冬鳥たちが勢ぞろいする時季。アシ原ではアオジ、オオジュリン、カシラダカなどが餌を探しています。沼にはどんなカモが来ているかな？ 身近な鳥ばかりですが、じっくり見ているといろんな楽しみが見つかりますよ。

北本市・石戸宿定例探鳥会

期日：12月3日(日)

集合：午前9時、北本自然観察公園駐車場。

交通：JR高崎線北本駅西口アイメガネ前より北里メディカルセンター病院行きバス8:40発にて「自然観察公園前」下車。

担当：岡安、大坂、高(文)、島田、内藤、立岩、永野(安)、永野(京)、高(尅)、山田、今井、山野

見どころ：ここ数年、山からはカヤクグリ、遠い北国からアトリ、ベニマシコ、アリスイなどの珍客があります。高尾の池にもカモが多く訪れるようになりました。冬鳥だけでなくなじみの留鳥にも感謝を忘れずに。

浦和市・民家園周辺定例探鳥会

〈見沼ヘルシーロードコース〉

期日：12月3日(日)

集合：午前9時、浦和市くらしの博物館民家園駐車場、念仏橋バス停前。

交通：JR浦和駅西口バス1番乗り場より、さぎ山記念公園行き8:15発、または大崎園芸植物園行き8:36発に乗車にて「念仏橋」下車。

後援：浦和市くらしの博物館民家園

担当：伊藤、手塚、工藤、倉林、笠原、吉岡(洋)、若林、新井(勇)

見どころ：バードウォッチングに最適なシーズンです。川のカモ達もいけれど、やっぱり冬の小鳥達、ツグミ、ジョウビタキなどがいい。寒いけど笑顔で待っていますよ。お出かけください。

熊谷市・大麻生定例探鳥会

期日：12月10日(日)

集合：午前9時30分、秩父鉄道大麻生駅前。

交通：秩父鉄道熊谷9:11発、または寄居9:03発に乗車。

担当：和田、森本、中里、石井(博)、倉崎、松本、高橋、後藤

見どころ：最後の大麻生探鳥会です。締めくくりとして、たくさんの鳥たちに会いたいですね。猛禽類、カラ類が期待できそうです。特別な催しはありませんが、多数のご参加をお待ちしています。

岩槻市・岩槻文化公園探鳥会

期日：12月10日（日）

集合：午前8時30分、東武野田線岩槻駅前。
または午前9時15分、文化公園駐車場
（国道16号側）。

交通：東武野田線大宮8：11発、または春日
部8：16分発大宮行きにて岩槻下車。
集合後バスで現地へ。

担当：中村（榮）、中島（康）、吉安、橋口、
玉井、入山、松永、田中、長嶋、長野
見どころ：公園とその周辺で冬の鳥たちを探
します。林やアシ原ではアオジが、水
辺ではカワセミ、カモやカモメの仲間
が見られます。今年もアカゲラやアリ
スイが来てくれれば最高です。

滑川町・武蔵丘陵森林公園探鳥会

期日：12月17日（日）

集合：午前9時40分、森林公園南入口前。
交通：東武東上線森林公園駅下車、森林公園
南口行き9：17発バスにて終点下車。
費用：入園料400円（子供80円）
担当：内藤、佐久間、岡安、藤掛、青山、喜
多、後藤

見どころ：冷たく澄んだ空気の中、日溜まり
の小道に落ち葉のカーペットを踏みな
がら、カモの待つ山田大沼まで歩きま
す。木立を歩き交う小鳥たち、見上げ
る大空に舞う猛禽類を探しましょう。

浦和市・三室地区定例探鳥会

期日：12月17日（日）

集合：午前8時15分、京浜東北線北浦和駅東
口、集合後バスで現地へ。または午前
9時、浦和市立郷土博物館前。

後援：浦和市立郷土博物館

担当：楠見、福井、手塚、伊藤、倉林、渡辺（周）、
笠原、若林、兼元、森（力）、清水、小菅
見どころ：今年も無事に探鳥会を終える。10
月は約100名の参加者で賑やかであっ
た。皆のスタートの後、渡辺喜八郎さ
んが高齢のことで、引退されるとご挨拶
に来られた。代って楠見が話を伺っ

た。三室はこころの例会だと感じた。
来年もそんな探鳥会にしたい。

『しらこぼと』袋づめの会

とき：12月23日（土・祝）1時～2時ごろ

会場：支部事務局108号室

作業終了後の楽しみは、今回もビデオ
とパソコンです。

年末講演会

期日12月24日（日）午後1時30分～4時30分

詳細は12ページをご覧ください

浦和市・さぎ山記念公園探鳥会

期日：平成13年1月3日（水）

集合：午前9時30分

交通：大宮駅東口7番バス乗り場から中野田
引返し場行きで約20分、「上野田」下
車、当日は正月ダイヤで1時間に3～
4本運行される予定です。

担当：海老原、楠見、工藤、櫻庭、福井
見どころ：毎年恒例食べ物飲み物持ち寄りの
探鳥会。おなじみの鳥たちに新世紀の
挨拶をした後、おなじみの鳥仲間と公
園の一角で、乾杯！はいいかがですか。

千葉県・銚子港探鳥会（要予約）

期日：1月27日（土）～28日（日）

集合：27日午前7時50分、大宮駅西口。

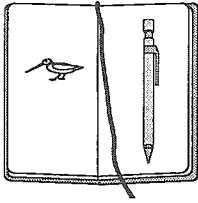
費用：18,000円の予定（バス代、宿泊料、保
険料など）。万一過不足は当日精算。
集合駅までの交通費は各自負担。旅行
詳細は後日申込み者に通知致します。

定員：20名（最小催行人員15名、支部会員優先）
申し込み：普通はがきに、住所、氏名、年齢、
性別、電話番号、喫煙の有無を明記し
て、榎本秀和

担当：榎本、橋口、島田、逸見、山田

見どころ：日本一のカモメの名所へ、海鳥ど
っさり、海の幸たっぷりのバスツアー。
船橋海浜公園にも立ち寄る予定です。

注意：宿は男女別の相部屋です。個室のご用
意はできません。



行事報告

6月4日(日) 北本市 石戸宿

参加: 43人 天気: 晴

カイツブリ カワウ オオタカ コジュケイ キジ バン キジバト カッコウ カワセミ コゲラ ヒバリ ツバメ キセキレイ セグロセキレイ ヒヨドリ ウグイス オオヨシキリ セッカ シジュウカラ メジロ ホオジロ カワラヒワ スズメ ムクドリ オナガ ハシボソガラス ハシブトガラス (27種) カラッと晴れ上がって、秩父の山並みが美しい。植物の種子が飛び交い、陽光を浴びて輝いている。高尾の池ではカイツブリとバンの親子が見られた。桑の実とサクランボを味見して舌でも自然を感じることができた。最後には大きなアオダイショウも出現するというおまけ付き。お目当てのカッコウは鳥合わせの時に鳴いてくれて、今年もやってきていることを知らせてくれた。(岡安征也)

7月2日(日) 群馬県板倉町 渡良瀬遊水地

参加: 51人 天気: 晴

カイツブリ カワウ ヨシゴイ ササゴイ ダイサギ カルガモ トビ バン コアジサシ シラコバト キジバト カッコウ ヒバリ ツバメ ヒヨドリ モズ コヨシキリ オオヨシキリ セッカ ホオジロ カワラヒワ スズメ ムクドリ オナガ ハシボソガラス ハシブトガラス (26種) 東洋大板倉駅から北エントランスの親水ゾーンでの探鳥会。暑さを避け集合も1時間早めた。思いで橋から葦原に向かう。お目当てのコヨシキリ、オオヨシキリが合唱をする中、ヨシゴイ、ササゴイが飛び回る。遠くでカッコウの鳴き声がするがオオヨシキリに見破られているのか数が少なくなったようだ。鳥合わせ間際に谷中湖でコアジサシを見つけ、夏としてはまずまずの観察結果だった。(橋口長和)

8月6日(日) 北本市 石戸宿

参加: 38人 天気: 晴

カイツブリ カワウ ゴイサギ ダイサギ アオサギ カルガモ オオタカ サシバ コジュケイ キジ バン キジバト アオゲラ ツバメ ヒヨドリ セッカ シジュウカラ メジロ ホオジロ カワラヒワ スズメ ムクドリ ハシボソガラス ハシブトガラス (24種) ふれ合い橋の上から、遠く青空を飛ぶサシバとオオタカの姿が見られた。頭上でコジュケイが鳴き、行く途にキジの親子連れが現れた。多数のカラスウリの花が見られたのも珍しい。この日はゴミを拾って分別し、その内容を調べた。その結果は、多いものから順に、食べ物の容器、ビン・カン類、その他であった。ゴミからも人の自然との関わりが見えてくる。

(岡安征也)

8月20日(日) 千葉県 船橋海浜公園

参加: 26人 天気: 晴

ハジロカイツブリ カワウ ダイサギ コサギ アオサギ スズガモ ハヤブサ ミヤコドリ シロチドリ メダイチドリ ダイゼン キョウジョシギ トウネン オバシギ ミユビシギ キアシシギ ソリハシシギ オオソリハシシギ チュウシャクシギ ウミネコ アジサシ コアジサシ キジバト ツバメ ハクセキレイ ヒヨドリ セッカ スズメ (28種) 今年はミヤコドリが早くも渡ってきた。まずは東防波堤へ。ハジロカイツブリを見ていると、上空をミヤコドリが12羽西の方へ。それではと西防波堤の方へ。干潟にコアジサシやシギ、チドリがいっぱい。近づいて見ていると鳥たちが落ち着いていない。そのうちハヤブサの若が出て、シギ、チドリを追うが空振り。暑くなってきたので終了。(佐久間博文)

9月10日(日) 熊谷市 大麻生

参加: 36人 天気: 晴

カイツブリ カワウ ダイサギ コサギ アオサギ カルガモ ハチクマ トビ ハヤブサ タシギ キジバト ツツドリ コゲラ ツバメ イワ

ツバメ ハクセキレイ セグロセキレイ ヒヨドリ
 モズ セッカ シジュウカラ ホオジロ カ
 ワラヒワ スズメ ムクドリ オナガ ハシボソ
 ガラス ハシブトガラス (28種) 荒川の土手を長
 月の風が時折吹き抜ける。今年生まれのカワラヒ
 ワ、ムクドリに出会う。モズの高鳴きは夏バテの
 ためか迫力不足。声だけで姿を見るのが少ない
 ツツドリが木陰で休んでいた。口を開き、真っ赤
 な喉をふるわせていた。秋をちよっぴり感じる大
 麻生だった。(島田恵司)

9月15日(金、休) シギ・チドリ類調査

ボランティア: 22人

有山雅男、石井智、伊藤幸子、海老原教子、海老
 原美夫、大坂幸男、金井祐二、久保田忠資、小林
 茂、小林ますみ、佐久間博文、島田恵司、島田沙
 織里、志村佐治、杉原みつ江、陶山和良、中里裕
 一、納谷美月、春沢郁子、馬場友里恵、福井恒人、
 百瀬修、山原忠義



9月17日(日) 浦和市 三室地区

雨のため中止。

9月17日(日) 坂戸市 高麗川

雨のため中止。

9月23日(土) 『しらこぼと』袋づめの会

ボランティア: 13人

伊藤泰一郎、海老原教子、海老原美夫、大坂幸男、
 倉林宗太郎、佐久間博文、島田恵司、島田沙織里、
 島田貴子、志村佐治、納谷美月、松村禎夫、百瀬
 修

9月23日(土) 松伏町 松伏記念公園

雨のため中止。

9月24日(日) 本庄市 板東大橋

参加: 12人 天気: 曇後晴

カイツブリ カワウ ダイサギ アオサギ カル
 ガモ コガモ トビ サシバ キジ イソシギ
 キジバト ヒバリ ショウドウツバメ ツバメ
 キセキレイ セグロセキレイ モズ ノビタキ
 セッカ ホオジロ カワラヒワ スズメ ムクド
 リ オナガ ハシボソガラス ハシブトガラス
 (26種) 明け方の雨にも、五輪の女子マラソンの
 誘惑にも負けずに集まった鳥好き12人で、和やか
 に久しぶりの板東大橋探鳥会がスタート。ショウ
 ドウツバメが乱舞する牧草地を進むと、ノビタキ
 のつぶらな瞳。上空には、渡っていくサシバ。秋
 の渡り鳥を楽しめた。(北川慎一)

9月24日(日) 狭山市 入間川

参加: 15人 天気: 曇

カイツブリ カワウ ゴイサギ ササゴイ コサ
 ギ アオサギ カルガモ イソシギ キジバト
 カワセミ コゲラ ツバメ ハクセキレイ セグ
 ロセキレイ ヒヨドリ モズ シジュウカラ カ
 ワラヒワ スズメ ムクドリ オナガ ハシボソ
 ガラス ハシブトガラス (23種) 通常コースが雨
 でぬかるんでいたのので、対岸を歩くことにした。
 鳥は少な目、天気も良くなかったが、ヒガンバナ
 が咲き、モズの高鳴きがひびく河原は、なんとも
 のどかでいいものだ。(長谷部謙二)

10月1日(日) 浦和市 民家園周辺

参加: 44人 天気: 曇

カイツブリ カワウ ゴイサギ ダイサギ コサ
 ギ アオサギ カルガモ コガモ オナガガモ
 キンクロハジロ チョウゲンボウ キジバン
 コチドリ クサシギ イソシギ セグロカモメ
 キジバト ツツドリ カワセミ ヒバリ ショウ
 ドウツバメ ツバメ イワツバメ ハクセキレイ
 セグロセキレイ ヒヨドリ モズ オオヨシキリ
 セッカ ノビタキ ホオジロ カワラヒワ スズ
 メ ムクドリ ハシボソガラス ハシブトガラス
 (37種) この時期の楽しみは渡り途中の鳥、夏鳥、
 そして冬鳥にも出会えること。雨上がりの空にシ
 ョウドウツバメが舞って、つぶらな瞳のノビタキ
 に思わず「かわいい」。カモの一陣も到着して、こ
 の日は気候も鳥も本格的な秋を感じさせてくれた
 1日だった。(手塚正義)

連絡 中長

●楽しい年末講演会

期日：12月24日（日）午後1時30分～4時30分（受付開始午後1時）

会場：埼玉県民活動総合センター（伊奈町）電話048-728-7111

交通：ニューシャトル大宮12:00、12:30発で羽貫下車。又はJR上尾駅東口から羽貫駅行きバス12:04発で終点下車。共に無料送迎バスに接続。

総合センターには無料駐車場あり。

第1部 午後1時30分～2時

ビデオで振り返る支部の1年

第2部 午後2時～4時30分

講演「秋が瀬で繁殖する鳥たちの生態－水田生態系の重要性－」

立教大学理学部動物生態学・上田恵介助教授が、長年秋が瀬で調査研究を重ねてきたヨシゴイ、コヨシキリ、オオヨシキリ、パン、セッカなどの繁殖生態と社会システムについて、又、休耕田を含む水田環境が、鳥たちの繁殖態にどのような影響を与えているかについて講演します。（第1、2部は入場無料）

講演会終了後、センター1階のレストランに場所を移して軽い立食パーティー（希望者のみ、会費4,000円）を開きます。上田先生との歓談に、1年を振り返り来年の楽しみを語る輪に、どうぞお集まりください。

●相次ぐ学校からの協力依頼

総合的な学習の時間が始まったことに関連して、学校からの協力依頼が急激に増えています。支部としては、各地域の役員リーダーと連絡をとって、出来るかぎり協力する姿勢で対応しています。

先月号でご紹介した坂戸市立坂戸中学校で指導した増尾隆リーダーもその一例です。

深谷市立桜ヶ丘小学校の依頼には同市在住の倉崎哲郎リーダーが、草加市立新田小学校の依頼には三郷市在住の山部直喜幹事が、それぞれ担当することになり、大宮市立植水中学校からの問い合わせには、海老原美夫事務局長が回答を書きましたが、所沢市立安松小

学校の様に、土曜日曜以外の平日でない駄目ということで、残念ながら担当できる人が見つからなかった例もあります。

●日本鳥類目録第6版を刊行

日本鳥学会から待望久しい第6版が刊行されました。18目74科230属542種と外来種26種を収録、検討中の34種・亜種をまとめた附録などがついています。

1冊4200円。送料実費400円。一般書店では販売されません。注文は日本鳥学会事務局 FAX 0155-49-5504 または E-mail fujimaki@obihiro.ac.jp まで。

なお、支部の鳥類リストとの関係については、本部の見解に変更があった時に検討する予定です。

●ごめんなさいコーナー

前月号の本欄写真、リーダー研修会は、9月3日の誤りでした。

●12月の事務局 土曜と日曜の予定

2日（土）普及部会議。

3日（日）シラコト見つけ隊会議。

9日（土）編集会議、研究部会議。

16日（土）校正作業。

17日（日）役員会議。

23日（土）袋づめの会。

●会員数は

11月1日現在2,915人です。

活動報告

10月14日（土）11月号校正（海老原美夫、大坂幸男）。

10月15日（日）役員会議（司会：工藤洋三、事務所賃貸借契約更新・関東ブロック協議会対応・その他）。

10月23日（月）11月号発送（倉林宗太郎）。

編集後記

山部編集部長が、直立不動の姿勢で、特集のリード文を書きました。200号！（海）

『しらこぼと』2000年12月号（第200号） 定価100円（会員の購読料は会費に含まれます）
発行人 中島康夫 編集発行 日本野鳥の会埼玉支部 TEL 048-832-4062 FAX 048-825-0460
〒336-0012 浦和市岸町4丁目26番8号 プリムローズ岸町107号 郵便振替 00190-3-121130
インターネットホームページ <http://www.bekkoame.ne.jp/ro/wbsj-saitm/>

住所変更・退会などの連絡先 〒151-0061 渋谷区初台1-47-1 小田急西新宿ビル1階
(財)日本野鳥の会会員センター業務室 TEL 03-5358-3511 FAX 03-5358-3608

印刷 関東図書株式会社（本誌掲載記事はすべて上記ホームページに転載されます。本誌から、またはホームページからの無断転載は、かたくお断わりします） 再生紙使用